



ASAHI University News Letter

vol.136

November 2021

発行日／隔月1日
編集・発行／朝日大学 総務部



朝日大学HP

産学連携活動の推進

朝日大学と橋本総業ホールディングス(株)とが、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に「産学連携に関する協定」を締結しました。



橋本政昭代表取締役社長と大友克之学長が協定を締結

創立50周年記念誌発刊に向けて

本大学では、創立50周年記念事業の一つとして、「朝日大学創立50周年記念誌(仮称)」を発刊することで準備を進めています。

紙面は、創立50周年への思い、岐阜県知事・理事長・学長による鼎談、地域連携座談会、体育会、公開講座、英語弁論大会、国際交流、各学部の概要と特色、キャンパスと学生、各学部同窓会等の項目で構成される予定です。

8月末からは、各種座談会等が順次開催されており、その一部を紹介させていただきます。

経営学部座談会

岐阜県高等学校商業校長会の村山義広会長(岐阜県立岐阜商業高等学校長)をお招きし、森下伊三男副学長、小畠信史経営学部長、小島一富士体育会会計研究部監督による座談会が8月27日に開催され、経営学部の未来について語っていただきました。



会計研究部内で座談会を開催



プロモーション写真を撮影

五輪で活躍したフェンサー

体育会フェンシング部のフェンシング場では、五輪で活躍したフェンサーたちによるガールズトークが9月6日に行われ、それぞれの五輪の思い出とこれからの夢について熱く語っていただきました。

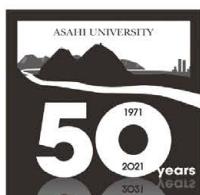


フェンシング場でガールズトーク



(左から)新井祐子総監督(アトランタ、シドニーの2大会出場)、辻すみれ選手(法学部4年 東京大会出場)、田村紀佳選手(2014年3月経営学部卒業 東京大会出場)、中山セイラさん(2006年3月経営学部卒業 ロンドン大会出場)

朝日大学は創立50周年を迎えました



1971年、私たちは岐阜県穂積の地に、岐阜歯科大学として産声を上げました。1985年に経営学部を増設し、校名を朝日大学として歩み始めました。歯科医師であり、また実業家でもあった本大学の創立者・宮田慶三郎先生は、知性的な人間、和を重んじ、社会性に富んだ心豊かな人間の育成を、大学の建学の精神に定めました。

新型コロナウイルス感染症という歴史的災厄を前にして、私たちはどう行動すべきか。ある歴史学者は、より良い世界を創造するために、Compassion(思いやり)、Generosity(寛容さ)、Wisdom(知恵)が必要であると語っています。この3つの要素は、コロナと闘うわれわれ医療者にも強く求められています。

「私たちは常に未来からの挑戦を受けている」

創立者が遺したこのメッセージは、今もなお色褪せることはありません。朝日大学は、毎年、卒業生に対して次のような言葉を贈っています。「人間は、心豊かに学際的、国際的な生涯学習と研究活動をすることが望ましい。たとえ、どのような専門分野にあろうとも」。

創立50周年を迎えるこれまで支えてくださった皆様、すべての卒業生、在学生、教職員、協力企業・団体、そして地域社会に感謝するとともに、新たな一步を踏み出すべく教育、研究、そして医療に真摯に取り組んでまいります。

理事長 宮田 淳
学長 大友 克之

产学連携協定を締結

地域社会の発展と人材育成

本大学(学長 大友克之)と橋本総業ホールディングス(株)(東京都中央区 代表取締役社長 橋本政昭)は、相互に連携協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的として、产学連携に関する協定を9月2日に穂積キャンパスにおいて締結しました。

同社は創業130年の老舗で、管工機材や住宅設備機器などの卸売りを手掛け、岐阜を含め全国に拠点がある設備商品を扱う企業です。

連携協議会を開催

協定締結に続き、第1回連携協議会が開催され、相互の協力の重要性を認識し、次の項目について密接な連携協力をしていくことを確認しました。

- ・一般市民の健康増進及びその啓発活動に関するこ
- ・地域社会における産業と経済の振興に関するこ
- ・インターンシップに関するこ
- ・スポーツ(硬式テニス)の競技力向上に関するこ
- ・その他、地域社会の発展につながる連携協力に関するこ



橋本社長の挨拶



大友学長の挨拶



連携協議会を開催

日中友好協会総会が開催

岐阜県日本中国友好協会(杉山幹夫会長)の2021年度定期総会が、6月27日岐阜市内で開催され、本大学からは大友克之学長と森下伊三男副学長が出席しました。

来賓として、中国駐名古屋総領事館から李文斌副総領事と曾理華領事(交流担当)、柴橋正直岐阜市長、石田仁大垣市長らが招かれた総会では、2022年「岐阜市と杭州市との碑文交換60周年」に向け、更なる民間交流を図る計画が承認されました。



李副総領事から祝辞が述べられる

大学間の多年にわたる相互交流

総会で大友学長は、同友好協会副会長として、本大学と北京大学口腔医学院、空軍医大学(旧:第四軍医大学)との多年にわたる相互交流の状況、また、岐阜県と交流関係にある江西省の南昌大学との学術交流協定を本年3月に締結したことなど紹介しました。

本大学は、これからも国際未来社会を切り開くという建学の精神に立脚し、中国をはじめとする世界の国々への扉を開いていきます。

「FD・SD研修会」教職員が学ぶ

東海国立大学機構の現状と展望

FD活動推進委員会主催による「2021年度第2回FD・SD研修会」が、8月18日に教職員など約240名が参加し、穂積キャンパス6号館大講義室と名古屋大学、岐阜大学とのZoomおよびYouTube配信によるハイブリッド方式により開催されました。

大学の在り方について意見交換

今回の研修会では、名古屋大学総長の松尾清一先生を講師にお迎えし、「新たな国立大学法人モデル、東海国立大学機構」と題し、国際競争が激化する世界において、超高齢化と少子化が加速的に進む日本社会における国立大学機構の存在意義と大学における魅力の発信などについて貴重な講演をいただきました。

講演終了後には、ネットを通して名古屋大学、岐阜大学、本大学による意見交換会が行われ、大学の在り方や方向性について理解を深めました。



名古屋大学 松尾総長が講師を務める

3人の司法試験合格!!

2021年9月7日発表(法務省)の令和3年司法試験(受験者3,424名・合格者1,421名;合格率41.5%・平均年齢28.3歳)で、服部香歩さん(2013年度法学部卒業)が、みごと合格されました。服部さんの合格により、本大学での司法試験合格者は3名となりました。

服部さんは本大学卒業後、名古屋大学のロースクールに進学して日々研鑽を積まれ、これまでの着実な学びが結実したものとなりました。

教職員一同お祝いを申し上げ、服部さんの今後ますますのご活躍を祈念いたします。



宮田理事長、大友学長に合格を報告(前列右から宮田理事長、服部さん
赤石常務理事、後列右から宮坂法学部准教授、大友学長、杉島法学部長)

授業がキャリア教育になる

ユマニテク短期大学附属教育研究所副所長の鈴木達哉氏を講師にお迎えし、教職課程センター主催による「高大連携・接続によるアクティブ・ラーニング研究会」が7月28日に開催(オンライン開催)され、岐阜県内の公私立高等学校や瑞穂市内の公立小中学校の教諭ら59名が参加しました。

第8回の研究会では、鈴木氏から「アクティブ・ラーニングで授業がキャリア教育になる」をテーマに講義が進められ、参加者たちは自身の知識や資料を活用し活発な議論を開いていました。



ユマニテク教育研究所副所長の鈴木氏が
講師を務める

高大連携・接続を深める

同研究会は、教育職員免許法等の改正に伴う学習指導要領の改訂に対応し、高大接続の取り組みとして、2017年に発足。

今後も、教育場面に応じたアクティブ・ラーニングの研究と実践、授業改善により展開されるアクティブ・ラーニングの情報・知識の共有などについて研究が進められます。

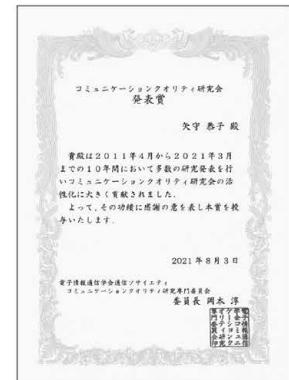
「CQ研究会発表賞」受賞!

経営学部矢守恭子教授が「コミュニケーションクオリティ(CQ)研究会30周年記念に関する表彰」において「発表賞」を受賞しました。

コミュニケーションクオリティ(CQ)研究会は、情報通信サービスとネットワークの品質に関連して、通信工学・情報工学を中心とし、心理学・社会学・経済学等にまで及ぶ学際的な領域を対象とする研究会です。

今回の受賞は、当該研究会設立30周年を記念し、過去10年間に研究成果の発表を行った件数に応じて表彰がなされ、矢守先生が発表件数上位者5名に選出されたことによるものです。

なお、表彰式は、コープシティ花園(新潟県)において開催されたCQ研究会において行われました。



矢守先生が「発表賞」を受賞

クリニカル・ステップアップセミナー

総合歯科医として学ぶべきもの

明海大学と朝日大学歯学部生涯研修部が主催する「2021年度クリニカル・ステップアップセミナー」が、8月1日に穂積キャンパス内の医科歯科医療センターで開催されました。

今回は、「総合歯科医として学ぶべきもの-歯科デジタル化に向けて-」をテーマに、4名の講師による対面とWEB配信(ライブ)の講義を、70名が熱心に受講しました。



貞光先生が臨床的デジタルワークフローを解説

- ・「臨床的デジタルワークフローの立案」
：貞光歯科医院院長：貞光 謙一郎 (1988年度歯学部卒業)
- ・「デジタル歯科で役立つ接着の基礎と実践」
：歯学部教授：二階堂 徹
- ・「総合治療における歯周再生療法と歯周形成外科の有用性」
：タキノ歯科医院理事長：瀧野 裕行 (1990年度歯学部卒業)
- ・「口腔インプラント治療におけるアナログとデジタルの融合」
：歯学部教授：中本 哲自

クリニカル・ステップアップセミナーは、歯科医師及び歯科衛生士を対象に生涯研修事業として定期的に開催されており、現在では教育的かつ国際的な医療貢献活動へと発展しています。

岐阜県の魅力発見!!

ベトナム人留学生がバスツアー

本大学に在学するベトナム人留学生9名が、7月27日に岐阜県及び岐阜県ベトナム友好協会が主催する「岐阜県の魅力・企業訪問バスツアー」に参加しました。

本ツアーは、近年急増しているベトナム人留学生と県内企業との交流の促進、また、岐阜県の魅力に触れる機会の提供を目的に開催されています。

留学生たちは、はじめに菓子製造・卸売業の鈴木栄光堂の養老物流センター（養老町船附）を訪問。業務内容や商品の説明を受け、海外事業部のベトナム人社員「学生時代の就職活動や仕事」の話には、活発に質問していました。

その後は、昨年オープンした「関ヶ原古戦場記念館」を訪れ、光、音、風、振動の演出による「関ヶ原の戦い」シアターを見学。本物そっくりの武器に触れるなど体験を通じて、日本の戦国時代の歴史を学びました。



鈴木栄光堂養老物流センターで研修 関ヶ原古戦場記念館を見学



北京大学看護学院との交流

オンライン会議で共同研究

本大学保健医療学部看護学科と学術交流協定を締結（2019年9月）している北京大学看護学院（中国）とのオンライン会議が、7月29日に開催されました。

会議では、はじめに新型コロナウイルス感染症の影響等について近況報告が須賀京子看護学科長とShang Shaomei看護学院長からそれぞれ行われ、「共同研究の実施」に向けた調査項目について活発な意見交換を行いました。



北京大学看護学院

中国

北京大学は、世界の名高い名門大学の一つで、1898年に開学された中国最高峰の国立大学です。

北京大学看護学院は、1984年に前身である北京医科大学に設立され、1990年には中国で初めての看護学習課程の認定機関となった中国を代表する看護師養成・研究機関です。

瑞穂市長にメッセージ

社会を明るくする運動

朝日大学BBS会の代表:白木友梨（法学部3年）さんが、「社会を明るくする運動」の強化月間となる7月1日に、もとす広域保護区保護司会と本巣更生保護女性会の代表らと瑞穂市役所を訪問し、森和之市長へ菅義偉内閣総理大臣並びに古田肇岐阜県知事からのメッセージを手渡しました。

白木さんは、メッセージ「すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築いていくことが重要である」を読み上げ、今後も、学生目線で朝日大学BBS会の活動を実践し、瑞穂市の発展に貢献していきたいと決意表明をしました。



森市長にメッセージを手渡す

図書の寄贈を受ける

図書館では、本大学法学部教授の下條芳明先生から次の著作の寄贈を受けました。

『講座 臨床政治学 第九巻 世界の憲法政治』（志學社）2021

下條先生のご専門は憲法学で、長きにわたり研究、教育を続けて来られました。この度の著書は、シリーズ図書の内の1冊として刊行され、先生はその編者も務めておられます。この図書は、現代における世界の憲法および憲法制度の一般的な概説書として企画され、その特色は、日本はもとより欧米諸国に加え、ラテン・アメリカなど環太平洋諸国を含めた20カ国あまりを取り上げている点です。

憲法学は法学部のみならずどの学部の学修においても基礎となる重要な学問であり、多くの学生に読んでいただきたい1冊です。



会計研究部

日商簿記検定1級に4名合格

現役学生の公認会計士合格者を多数輩出している体育会会計研究部では、難関試験のひとつである「日商簿記検定1級試験：(第158回合格率9.8%)」に4名の学生が、8月3日にみごと合格しました。



「日商簿記検定1級」合格の学生

優れた教育システム

経営学部経営学科の学びの領域「会計・ファイナンス」で学ぶ会計研究部の部員たちは、公認会計士、税理士や企業の財務・会計のプロフェッショナルを目指し、現役公認会計士らによる個別指導のもと、専用学習室でパソコンやWebサポートシステムなどをを利用して、夢の実現に向けて学びを続けています。

全国交通安全運動を展開

交通ルール遵守の呼びかけ

穂積キャンパス東側道路に設置された横断歩道付近にて、7月11日～20日と9月21日～30日に交通安全運動を実施しました。

学生部の呼びかけで、北方警察署、本巣地区交通安全協会、防犯団体「めぐる」や相撲部の学生を中心に約70名が、朝の通勤通学時間帯に合わせて「横断歩道を渡りましょう。シートベルトを着用しましょう」などのハンドプレートや横断幕・のぼりを掲げ、歩行者や車両に対して交通ルール遵守を呼びかけました。



北方警察署や本巣地区交通安全協会の皆様と

ご支援・ご協力への御礼

新型コロナウイルス感染症対策に向けて

新型コロナウイルスによる感染症発生以降、大学、専門学校並びに3医療機関に対して関係団体・機関・企業様からさまざまご支援・ご協力を賜っております。

世界的にも衛生材料や建築資材などが不足する中でのご支援・ご協力に、心から感謝を申し上げます。

これまでご支援・ご協力いただきました
団体・機関・企業・個人様につきましては、
公式ホームページにて掲載しております。



ご支援をいただいた品々(マスク、氷枕)

吹奏楽部「金賞」受賞!!

聴衆を魅了する演奏

体育会吹奏楽部が、8月9日に不二羽島文化センター(羽島市)で開催の「第59回岐阜県吹奏楽コンクール」(岐阜県吹奏楽連盟、朝日新聞など主催)に出場し、みごと「金賞」の栄冠に輝きました。

また同部は、今春開催された岐阜市の「東京五輪最終聖火ランナーの到着を祝うイベント」での演奏の大役も果たしました。

2019年春に創部された吹奏楽部は、現在29名の部員が和田隆明監督(教職課程センター講師)の指導の下、「朝日大学らしい演奏」を目指して、全日本吹奏楽コンクールや全日本アンサンブルコンテストでの上位進出を見据え、日々練習に励んでいます。



聴衆を魅了する演奏

横綱：照ノ富士から御米100kg!!

本大学体育会相撲部は、大相撲名古屋場所(7月開催)で準優勝に輝き第73代横綱に昇進した大関照ノ富士関(伊勢ヶ浜部屋)から、6月11日に御米100kgの寄付を受けました。

照ノ富士関を全力で応援したい

今回の寄付は、大相撲元十両:徳真鵬で本大学事務職員(兼体育会相撲部コーチ)の白塚元久さんと照ノ富士関とが旧知の仲であったことから、コロナ禍で、クラブ活動も十分にできないことを心配した照ノ富士関から「体づくりをしっかりして、練習の成果が發揮できるよう頑張ってください」とのメッセージを添え、激励いただいたものです。

古田拓也主将(経営学部4年)は、「照ノ富士関を全力で応援したい。大会での良い成績を報告したい」と笑顔で応えていました。



照ノ富士関からの御米を披露する相撲部員

自転車「全日本インカレ」総合3位

「文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権」が、8月13~22日に長野県松本市美鈴湖競技場及び群馬CSCで開催され、体育会自転車競技部が優秀な成績を収めました。

トラック競技9種目及びロード競技1種目の総合成績で争われる「全日本インカレ」には、基準タイムをクリアした全国42大学からのべ437名が出場。

16回目の「総合入賞」

タンデムSP準優勝、4kmTP3位入賞(学生新記録樹立)、4kmIP3位入賞、オムニアム3位入賞、ケイリン4位入賞、チームSP5位入賞、1kmTT8位入賞、マディソン8位入賞の成績を収めた自転車競技部は、トラック部門「総合3位入賞」の成績(ロード部門を加えると「総合5位入賞」)を収め、創部19年で16回目の「総合入賞」を果しました。

「大学ナンバーワン」を目指し、自転車競技部はこれからも走り続けます。



トラック部門「総合3位入賞」



4kmTPで「学生新記録を樹立」

元横綱:鶴竜の指導を受ける

大相撲名古屋場所(7月開催)後の7月19日、元横綱鶴竜(陸奥部屋)で、現在年寄「鶴竜」を襲名し親方として後進の指導にあたっている鶴竜親方が大友克之学長を表敬訪問され、後進の指導への意気込みや五輪聖火リレーの話題に華が咲きました。

その後、親方は穂積キャンパス内の相撲場を訪問され、「相撲道」について熱のこもった助言指導を体育会相撲部部員たちに行っていただきました。



大友学長を表敬訪問



相撲場で横綱:鶴竜親方の指導を受ける

スポーツフェスティバル開催

穂積キャンパスのラグビー場他において、7月10日に「第11回スポーツフェスティバル」が十分な感染対策を施して開催され、コロナ禍ではあったものの天候にも恵まれ、子供たちの元気な姿や歓声があふれ、にぎやかなフェスティバルとなりました。

様々なスポーツやレクリエーションを体験

開会式では、山本英弘体育会会长と高橋幸平ぎふ瑞穂スポーツガーデン理事長の挨拶があり、その後、各クラブのブースに分かれ、様々なスポーツやレクリエーションを楽しみました。

保護者からは「コロナ禍で外出する機会も少なかったので、久しぶりに子供たちと思い切っかり屋外で身体を動かす良い機会となりました。また、是非参加したい」との感想が寄せられました。



好天に恵まれたスポーツフェスティバル

NEWS

「建学の精神」とSDGs

持続可能な社会の実現に向けて

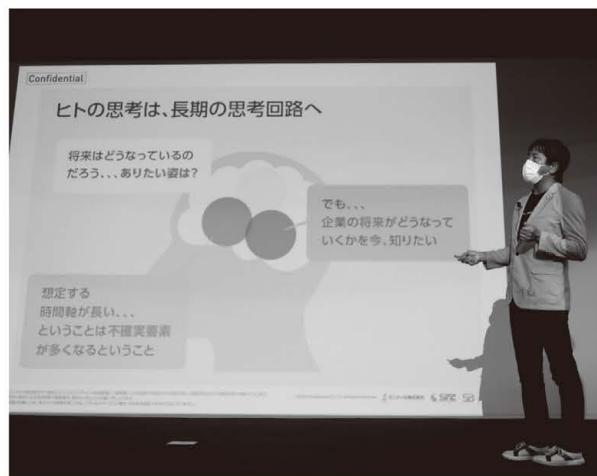
穂積キャンパス6号館大講義室で、法学部、経営学部及び保健医療学部健康スポーツ科学科の学生を対象に「建学の精神と社会生活」の講義が、7月14日に対面とオンライン配信のハイブリッドで行われました。

今回の講義では、サンメッセ(株)取締役専務執行役員兼サンメッセ総合研究所(Sinc)代表の田中信康氏をお招きし、講演いただきました。

SDGsは自分ゴト

講演で田中氏は、「ニューノーマルを見据えた変革」をテーマに、なぜSDGsが生まれ、なぜ取り組む必要があるのかを、行政の動向や企業・教育現場での取り組み事例を交えながら解説。また、「SDGsは自分ゴトとして考え方行動すべきもの。不確実性が高い現代社会ゆえに、外部との連携を基軸とした課題解決型学習(Project Based Learning)が重要となる」と語られました。

サンメッセ(株)と本大学は、2020年9月に持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け相互協力しSDGs連携活動を開催するための包括協定を締結。SDGsの17の達成目標の下、連携項目実現に向けて、日々連携と協力を推し進めています。



田中氏がSDGsについて語る



秋季学位記授与式

秋季学位記授与式ならびに修了式が、9月21日に穂積キャンパス6号館大講義室において厳粛に挙行されました。

今秋の卒業生・修了生は、コロナ禍の影響もあり学部卒業生、留学生別科修了生の総員13名(5カ国)。式典では大友克之学長から、学位記、修了証書が一人ひとりに手渡され、卒業生らは緊張しつつも充実感に満ち溢れた面持ちで受領していました。



学位記が授与される

新たな門出を祝福

教職員等に拍手で送り出された卒業生たちは皆、朝日大学での学生生活の日々を振り返りながらも、これから始まる新生活への希望に満ちた表情でした。卒業生たちが、新たな門出を互いに満面の笑顔で祝福し合っていたのが印象的でした。



学歌の演奏

秋季入学式を挙行

2021年度朝日大学秋季入学式が、9月21日に穂積キャンパス6号館大講義室にて挙行されました。

今秋の入学者は、世界3カ国から総員15名(学部、大学院、留学生別科)。各学部長からの式辞を緊張した面持ちで受けた新入生の新たなページが、ここ朝日大学でスタートすることになりました。

建学の精神を大切に

式典では、大友克之学長からの入学許可に引き続き、「建学の精神に基づき朝日大学での勉学・研究にそれぞれが邁進し、有意義な学生生活を送ってください」と宮田淳理事長からの祝辞(高橋偉茂常務理事代読)が述べられました。



田村歯学研究科長からの式辞